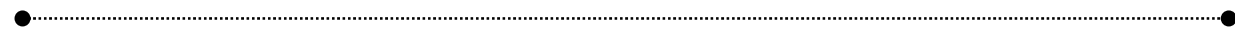


平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 歴史文化を活かした地域づくり |
| 事業主体 (連絡先) | 入山辺地区歴史文化愛護会愛護会 松本市入山辺1509-1 Tel: 0263-32-1389 |
| 事業区分 | (3) 教育、文化の振興に関する事業 (5) 環境保全、景観形成に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 1,970,000円 (うち支援金: 1,477,000円) |



事業内容

文化資産への関心場薄れ、継承や保存が困難になっていること、地域の文化の歴史が網羅されている公民館報が活用されていないことを背景に以下の事業を実施した。

- (1) 住民自らが参加して自治区内の文化資産の調査をおこない、文化資産を再認識をした。
- (2) 昭和24年に創刊号がだされ400号を迎えた公民館報と調査した文化資産を一冊にした文化誌を発刊した。
- (3) 発刊した文化誌を活用した歴史文化講座（先人の教えに学ぼう、地域の文化資産を知ろう）を2回開催した。



<文化資産調査の様子>

【目標・ねらい】

- ① 住民自らが自治区内の文化資産の調査に参加する
- ② 公民館報と文化資産を一冊にした文化誌を発刊する
- ③ 発刊した文化誌を活用する

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- (1) 13町会すべてにおいて、自治区内の文化資産の調査を実施することで、文化資産を再認識すると共に、文化資産への関心が高まった。
- (2) 住民自ら調査した文化資産と公民館報を一冊にした千ページに及ぶ貴重な文化誌を、編集委員を中心に多くの住民の皆さんの協力で発刊できた。
- (3) 発刊された文化誌を活用した講座（先人の教えに学ぼう、地域の文化資産を知ろう）を2回開催したことで、地域の歴史を再認識できた。(参加者30名)
- (4) 文化誌を読んだ方から、昔の地域のことが良くわかり、貴重な資料だとの声が多く寄せられた。(45件)

※自己評価【A】

- 【理由】
- ・455項目の文化資産の調査把握ができた
 - ・調査した文化資産と公民館報を網羅した文化誌を発刊した
 - ・作成した文化誌を活用した歴史文化講座を2回開催した

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- (1) 文化誌を活用した歴史文化講座（先人の教えに学ぼう、地域の文化資産を知ろう）を継続して開催することで、多くの住民の方に参加していただき、先人の教えを学びます
- (2) 文化資産の保護や整備を住民の皆さんと実施し、文化資産の継承に積極的に関わることで地域の絆を深め、地域の活性化を図ります。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある